

ヨモギエダシャク (Mugwort looper)

Ascotis selenaria



幼虫(中央、大きくなると約50mm)



幼虫(中央やや上)と、食べられた葉

特徴

卵は茶園以外の場所に産みつけられ、ふ化した幼虫が風によって茶園にやっています。

年3～4回発生します。

被害と対策

夏から秋に発生する幼虫による被害が大きくなります。

幼虫を見つけたら捕まえて処分しましょう。